

《VI 研究》

【教員の研究活動について】

(1) 次の「専任教員の研究実績表」を例にして過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の専任教員の研究状況を記載し、その成果について記述して下さい。

本学の専任教員の研究実績は、下記の表の通りである。

食物栄養科が平成21年度に、四年制の管理栄養士課程の学部に昇格するために、平成17年度以降、食物栄養科の専任教員の研究業績を増やすための取組みをしてきたので、食物栄養科の専任教員の論文数・学会等発表数の実績数が際だっている。

幼児教育科においても、研究が奨励されているが、前述の事情により、食物栄養科と比較すると、実績数では劣っている。

平成18年度～20年度 専任教員の研究実績表

学科名	氏名	研究業績					国際的 活動の 有無	社会的 活動の 有無	備考
		職名	著作数	論文数	学会等 発表数	その他			
食物栄養科	齋藤宗勝	教授	0	2	6	0	無	有	
	山村堯樹	教授	0	2	13	0	有	有	
	阿部久佐	教授	0	2	3	0	有	有	
	小林芳弘	教授	0	2	0	0	無	無	
	笹田陽子	教授	0	9	14	0	有	有	
	谷口 繁	教授							休務
	澤田孝子	教授	0	1	3	0	有	有	
	吉田 実	准教授	0	0	0	10	無	有	
	佐藤ななえ	講師	0	1	7	0	有	無	
幼児教育科	中里義博	教授	0	0	0	0	無	無	
	斎藤 修	教授	1	2	1	0	有	有	
	松里雪子	教授	0	1	0	0	無	有	
	吉田恵子	教授	0	1	0	0	無	有	
	長谷川誠	教授	0	1	0	5	無	有	
	大塚健樹	教授	1	3	0	0	無	無	
	近藤真弓	教授	1	1	0	0	無	有	
	劔持清之	教授	0	0	0	19	無	有	
	菊池由美子	准教授	0	0	0	0	無	有	
	宮森孝治	准教授	0	1	0	0	無	無	
	鎌田多恵子	准教授	0	0	0	0	無	無	
	嶋野重行	准教授	2	2	5	0	無	有	

(2) 教員個人の研究活動の状況を公開していれば、その取組みの概要を記述し、公開している印刷物等を訪問調査の際にご準備下さい。

教員紹介に、主な著書、論文、研究分野等を記載して学生には公開しているが、一般には特に公開していない。なお、平成21年度夏までに、HPにアップする予定である

(3) 過去3ヶ年（平成18年度～平成20年度）の科学研究費の申請・採択等、外部からの研究資金の調達状況（件数）を一覧表にして下さい。

本学の科学研究費等の外部資金調達状況は、以下の表の通りで、採択数は年2件程度に留まっている。外部資金とは、言い難いが、盛岡大学学術研究助成金制度を設け、研究の奨励に努めている。

外部研究資金の申請・採択状況（平成18年度～20年度）

外部資金調達先等		18年度		19年度		20年度	
		申請	採択	申請	採択	申請	採択
科学研究費補助金		2	0	1	1	3	1
その他の 外部研究資金	盛岡大学学術研究補助金	2	2	2	2	2	2
	特色ある大学教育支援プログラム			1	0		
	(財)リバーフロント整備センター	1	1	1	1	1	1
	日本科学協会笹川研究助成	1	1				
	不二たんぱく質研究振興財団					1	0
	マツダ財団研究助成			1	0		

(数字は、件)

(4) 学科等ごとのグループ研究や共同研究、短期大学もしくは学科等の教育に係る研究の状況について記述して下さい。

個人レベルでの連名研究は行われているが、短期大学及び学科規模での共同研究は平成18年度から20年度にかけては行われていない。

【研究のための条件について】

- (1) 研究費（研究旅費を含む）についての支給規程等（年間の支出限度額等が記載されているもの）を整備していれば訪問調査時に拝見します。なお規程等を整備していない場合は、過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の決算書から研究に係る経費を項目（研究費、研究旅費、研究に係る施設、機器・備品等の整備費、研究に係る図書費等）ごとに抽出し一覧表にして参考資料として準備して下さい。

「盛岡大学短期大学部研究費支給内規」を整備し、その内規に基づいて研究費は執行されている。

- (2) 教員の研究成果を発表する機会（学内発表、研究紀要・論文集の発行等）の確保について、その概要を説明して下さい。なお過去3ヶ年（平成18年度～20年度）の研究紀要・論文集を訪問調査の際に拝見いたしますのでご準備下さい。

短期大学部のみを紀要として『盛岡大学短期大学部研究紀要』が年一回刊行され、現在第18号（通巻31号）となっている。

また、大学・短大共通の紀要として比較文化センターの発行する「比較文化研究」があり、現在第19号が発刊されている。なお、比較文化センターには、大学・短大の全教員が所属し、比較文化という共通のテーマで研究し、年数回の研究発表も行われている。

- (3) 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況について、平成20年度の決算よりその支出状況を記述して下さい。また、訪問調査の際の校舎等案内時に教員の研究に係る機器、備品、図書等の状況を説明して下さい。

平成20年度の研究費による支出の内訳は次の通りとなっており、教員全員の研究費総額9,385,000円の約86パーセントが支出された。

費 目	支 出 額	備 考
消耗品費	4, 0 3 8, 9 9 7	20年度まで研究用図書は消耗品費に含まれている。
旅費交通費	2, 4 0 4, 5 4 9	
通 信 費：	6, 8 0 0	
印刷製本費	5 4, 4 9 5	
分担金等	5 9 3, 6 1 7	
業務委託費	2 4 5, 7 0 3	
支払報酬	3 9, 8 0 0	
支払手数料	1 5, 4 4 0	
研修費	4 6 6, 6 3 6	
雑費	4, 2 0 0	
機器備品費	1 6 9, 7 9 9	
合 計	8, 0 4 0, 0 3 6	

(数字は、円)

(4) 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況を記述して下さい。なお訪問調査の際に研究室等をご案内願います。

本学では、全専任教員に個別の研究室が配置されている。また、それぞれの学科に必要な実験室・実習室・演習室等が配置されている。

(5) 教員の研修日等、研究時間の確保の状況について記述して下さい。

本学では、各教員が研究を進められよう、就業規則で勤務が原則拘束されない研修日を週一日認めている。

【特記事項について】

(1) この《VI研究》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、教員の研究について努力していることがあれば記述して下さい。

本学では、大学と共同で予算を計上し、「盛岡大学学術助成」という研究助成制度を設け、研究の奨励に努めている。短大の教員の実績は以下の通りである。

平成18年度は、6件採択され、総額125万円が交付された。

平成19年度は、5件採択され、総額100万円が交付された。

平成20年度は、6件採択され、総額100万円が交付された。